

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 静岡銀行

コード番号 8355 URL <http://www.shizuokabank.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 中西 勝則

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 柴田 久

四半期報告書提出予定日 平成21年11月26日

配当支払開始予定日

TEL 054-261-3131

平成21年12月10日

特定取引勘定設置の有無 有

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	107,810	△6.4	28,742	38.9	17,469	48.9
20年9月中間期	115,237	△8.5	20,679	△41.4	11,729	△39.7

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
21年9月中間期	25.03	25.02
20年9月中間期	16.80	16.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	連結自己資本比率 (国際統一基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
21年9月中間期	9,218,558	701,096	7.4	978.05	14.74
21年3月期	9,114,742	652,515	6.9	909.15	14.12

(参考) 自己資本 21年9月中間期 682,563百万円 21年3月期 634,566百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(国際統一基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	6.00	13.00
22年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
22年3月期 (予想)			—	6.50	13.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	211,000	△9.1	52,800	164.5	30,800	136.6	44.13

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月中間期 710,129,069株 21年3月期 710,129,069株

② 期末自己株式数 21年9月中間期 12,253,367株 21年3月期 12,159,043株

③ 期中平均株式数(中間期) 21年9月中間期 697,906,791株 20年9月中間期 698,076,555株

(個別業績の概要)

1. 平成22年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月中間期	93,844	△7.5	27,545	44.5	17,348	49.4
20年9月中間期	101,537	△7.2	19,051	△42.0	11,607	△39.0

	1株当たり中間純利益
	円 銭
21年9月中間期	24.85
20年9月中間期	16.62

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	単体自己資本比率 (国際統一基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
21年9月中間期	9,161,912	678,223	7.4	971.63	14.51
21年3月期	9,076,042	630,621	6.9	903.32	13.91

(参考) 自己資本 21年9月中間期 678,081百万円 21年3月期 630,491百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

(注2)「単体自己資本比率(国際統一基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

2. 平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	△9.9	50,500	198.8	30,500	138.1	43.70

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。
- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当中間期における国内経済は、政府による経済対策の効果や在庫調整の進展は見られたものの、個人消費や雇用の回復には至らず、また、円高の影響もあり、総じて低調に推移しました。

静岡県経済につきましても、一部の業種で回復の兆しも見られましたが、需要低迷の影響などにより設備投資は大幅に減少し、また、県内の有効求人倍率は全国平均を下回る水準で推移するなど、景気回復への見通しが立ちにくい状況が続きました。

このような経営環境のもと、静岡銀行グループの連結経常収益は、内外金利低下にともなう資金運用収益の減少を主因に前年同期比74億27百万円減少し、1,078億10百万円となりました。また、連結経常費用は、資金調達費用の減少および株式等償却などのその他経常費用の減少を主因に前年同期比154億89百万円減少し、790億68百万円となりました。この結果、連結経常利益は、前年同期比80億62百万円増加し、287億42百万円、連結中間純利益も前年同期比57億40百万円増加し、174億69百万円となりました。

グループの中核である静岡銀行の利益は以下のとおりです。

経常収益は、資金運用収益を中心に、前年同期比76億93百万円減少し、938億44百万円となりました。また、経常費用は、資金調達費用の減少および株式等償却などのその他経常費用の減少を主因に前年同期比161億86百万円減少し、662億98百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比84億93百万円増加して、275億45百万円、中間純利益も前年同期比57億40百万円増加し、173億48百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

○資産・負債・純資産の状況

静岡銀行グループの当中間期末の資産は、静岡銀行の現金預け金を中心に前年度末に比べ1,038億円増加し、9兆2,185億円となりました。負債につきましては、静岡銀行の譲渡性預金の増加などにより前年度末に比べ552億円増加し、8兆5,174億円となりました。また、純資産はその他有価証券評価差額金の増加などにより、前年度末に比べ485億円増加し、7,010億円となりました。

グループの中核である静岡銀行の主要勘定の特徴は以下のとおりです。

○貸出金

地域とともに成長する総合金融グループとしての責任を果たすべく、地域のお客さまに対する安定的な資金供給に取り組んでまいりました。住宅ローンを中心とする個人向け貸出金は順調に推移しましたが、大企業向け貸出金の減少により、当中間期末の貸出金残高は、前年度末に比べ782億円減少し、6兆2,892億円となりました。

○預金等

当中間期末の預金等（預金＋譲渡性預金）残高は、個人向けおよび法人向けの預金等を中心に前年度末に比べ960億円増加し、7兆4,945億円となりました。

また、個人のお客さまの多様化する資金運用ニーズにおこたえするため、円貨預金に加え、外貨預金、国債、投資信託、個人年金保険など魅力ある商品を幅広く提供してまいりました。

この結果、円貨預金、譲渡性預金を含めた個人のお客さまの預り資産残高は、前年度末に比べ1,203億円増加し、6兆616億円となりました。

○有価証券

有価証券につきましては、相場動向を注視しつつ、健全かつ安定的なポートフォリオ運営につとめてまいりました。

当中間期末の有価証券残高は、国内金利の低下局面で円貨債券の売却を実施する一方、米国金利上昇局面で外国債券を増加させたことにより、前年度末に比べ706億円増加し、2兆1,189億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当中間期の実績および足元の状況を踏まえ、平成22年3月期の静岡銀行グループの業績見通しは、経常収益2,110億円、経常利益528億円、当期純利益308億円、また、単体では、経常収益1,850億円、経常利益505億円、当期純利益305億円といたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当ありません。

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(連結範囲に関する適用指針)

「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第22号平成20年5月13日)が平成20年10月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、当中間連結会計期間から同適用指針を適用しております。これによる連結の範囲に変更はありません。

5 【中間連結財務諸表】
(1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
現金預け金	450,959	287,987
コールローン及び買入手形	70,947	57,233
買入金銭債権	30,617	62,107
特定取引資産	53,961	65,127
金銭の信託	2,000	—
有価証券	2,133,923	2,063,085
貸出金	6,268,484	6,350,250
外国為替	8,447	10,178
リース債権及びリース投資資産	38,032	36,422
その他資産	95,176	83,029
有形固定資産	69,379	71,916
無形固定資産	18,376	18,788
繰延税金資産	2,714	18,831
支払承諾見返	62,133	71,034
貸倒引当金	△86,477	△81,141
投資損失引当金	△118	△109
資産の部合計	9,218,558	9,114,742
負債の部		
預金	7,113,205	7,100,823
譲渡性預金	382,930	289,140
コールマネー及び売渡手形	265,236	149,623
債券貸借取引受入担保金	148,150	126,751
特定取引負債	32,710	28,341
借入金	305,142	478,045
外国為替	144	116
社債	65,000	85,000
その他負債	113,201	108,245
退職給付引当金	23,009	22,870
睡眠預金払戻損失引当金	869	960
偶発損失引当金	1,756	1,263
特別法上の引当金	11	11
繰延税金負債	3,960	—
支払承諾	62,133	71,034
負債の部合計	8,517,461	8,462,226
純資産の部		
資本金	90,845	90,845
資本剰余金	54,884	54,887
利益剰余金	475,376	462,094
自己株式	△12,428	△12,349
株主資本合計	608,677	595,479
その他有価証券評価差額金	75,067	40,284
繰延ヘッジ損益	△355	△312
為替換算調整勘定	△825	△884
評価・換算差額等合計	73,885	39,087
新株予約権	142	129
少数株主持分	18,391	17,819
純資産の部合計	701,096	652,515
負債及び純資産の部合計	9,218,558	9,114,742

(2)【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
経常収益	115,237	107,810
資金運用収益	84,030	72,917
(うち貸出金利息)	61,863	56,423
(うち有価証券利息配当金)	19,543	15,308
信託報酬	0	—
役務取引等収益	22,440	22,681
特定取引収益	1,092	717
その他業務収益	2,789	5,185
その他経常収益	4,884	6,307
経常費用	94,558	79,068
資金調達費用	19,870	8,313
(うち預金利息)	12,386	5,927
役務取引等費用	9,838	10,999
その他業務費用	2,846	2,473
営業経費	43,772	45,764
その他経常費用	18,229	11,516
経常利益	20,679	28,742
特別利益	10	748
固定資産処分益	0	745
償却債権取立益	5	3
その他の特別利益	4	—
特別損失	572	274
固定資産処分損	512	274
減損損失	1	—
その他の特別損失	58	—
税金等調整前中間純利益	20,116	29,216
法人税、住民税及び事業税	12,048	12,542
法人税等調整額	△4,385	△1,312
法人税等合計	7,662	11,230
少数株主利益	725	516
中間純利益	11,729	17,469

(3) 【中間連結株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	90,845	90,845
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	90,845	90,845
資本剰余金		
前期末残高	54,887	54,887
当中間期変動額		
自己株式の処分	5	△3
当中間期変動額合計	5	△3
当中間期末残高	54,893	54,884
利益剰余金		
前期末残高	458,525	462,094
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,537	△4,187
中間純利益	11,729	17,469
当中間期変動額合計	7,191	13,281
当中間期末残高	465,716	475,376
自己株式		
前期末残高	△12,163	△12,349
当中間期変動額		
自己株式の取得	△287	△160
自己株式の処分	71	81
当中間期変動額合計	△215	△79
当中間期末残高	△12,378	△12,428
株主資本合計		
前期末残高	592,095	595,479
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,537	△4,187
中間純利益	11,729	17,469
自己株式の取得	△287	△160
自己株式の処分	77	77
当中間期変動額合計	6,981	13,198
当中間期末残高	599,077	608,677
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	108,950	40,284
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△25,472	34,783
当中間期変動額合計	△25,472	34,783
当中間期末残高	83,478	75,067

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△218	△312
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	227	△43
当中間期変動額合計	227	△43
当中間期末残高	9	△355
為替換算調整勘定		
前期末残高	△44	△884
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△268	59
当中間期変動額合計	△268	59
当中間期末残高	△312	△825
評価・換算差額等合計		
前期末残高	108,688	39,087
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△25,513	34,798
当中間期変動額合計	△25,513	34,798
当中間期末残高	83,175	73,885
新株予約権		
前期末残高	57	129
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	36	12
当中間期変動額合計	36	12
当中間期末残高	94	142
少数株主持分		
前期末残高	16,549	17,819
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	698	571
当中間期変動額合計	698	571
当中間期末残高	17,248	18,391
純資産合計		
前期末残高	717,391	652,515
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,537	△4,187
中間純利益	11,729	17,469
自己株式の取得	△287	△160
自己株式の処分	77	77
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△24,777	35,382
当中間期変動額合計	△17,795	48,580
当中間期末残高	699,595	701,096

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

6 【中間財務諸表】
(1) 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
資産の部		
現金預け金	447,529	301,999
コールローン	70,947	57,233
買入金銭債権	30,617	62,107
特定取引資産	53,975	65,127
金銭の信託	2,000	—
有価証券	2,118,963	2,048,326
貸出金	6,289,251	6,367,529
外国為替	8,324	10,167
その他資産	73,148	59,510
有形固定資産	58,756	59,872
無形固定資産	17,903	18,330
繰延税金資産	—	16,420
支払承諾見返	71,700	86,182
貸倒引当金	△81,139	△76,671
投資損失引当金	△65	△94
資産の部合計	9,161,912	9,076,042
負債の部		
預金	7,102,519	7,099,796
譲渡性預金	392,030	298,740
コールマネー	265,236	149,623
債券貸借取引受入担保金	139,374	119,713
特定取引負債	32,713	28,343
借入金	289,805	462,215
外国為替	145	120
社債	65,000	85,000
その他負債	96,319	91,152
未払法人税等	11,914	2,282
リース債務	561	317
その他の負債	83,842	88,553
退職給付引当金	22,389	22,308
睡眠預金払戻損失引当金	869	960
偶発損失引当金	1,756	1,263
繰延税金負債	3,829	—
支払承諾	71,700	86,182
負債の部合計	8,483,688	8,445,421

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成21年 9 月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成21年 3 月31日)
純資産の部		
資本金	90,845	90,845
資本剰余金	54,884	54,884
資本準備金	54,884	54,884
利益剰余金	469,889	456,732
利益準備金	90,845	90,845
その他利益剰余金	379,043	365,887
固定資産圧縮積立金	2,210	2,241
固定資産圧縮特別勘定積立金	341	341
特別償却準備金	0	0
特別積立金	348,700	348,700
繰越利益剰余金	27,791	14,603
自己株式	△12,428	△12,349
株主資本合計	603,190	590,113
その他有価証券評価差額金	75,246	40,690
繰延ヘッジ損益	△355	△312
評価・換算差額等合計	74,890	40,378
新株予約権	142	129
純資産の部合計	678,223	630,621
負債及び純資産の部合計	9,161,912	9,076,042

(2) 【中間損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
経常収益	101,537	93,844
資金運用収益	83,004	72,682
(うち貸出金利息)	61,373	56,340
(うち有価証券利息配当金)	19,032	15,147
信託報酬	0	—
役務取引等収益	12,268	11,616
特定取引収益	925	401
その他業務収益	2,790	5,183
その他経常収益	2,549	3,960
経常費用	82,485	66,298
資金調達費用	18,888	8,138
(うち預金利息)	11,671	5,826
役務取引等費用	3,860	4,159
その他業務費用	2,846	2,473
営業経費	41,256	43,277
その他経常費用	15,633	8,249
経常利益	19,051	27,545
特別利益	0	745
特別損失	513	272
税引前中間純利益	18,538	28,018
法人税、住民税及び事業税	11,359	11,740
法人税等調整額	△4,428	△1,069
法人税等合計	6,930	10,670
中間純利益	11,607	17,348

(3)【中間株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	90,845	90,845
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	90,845	90,845
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	54,884	54,884
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	54,884	54,884
その他資本剰余金		
前期末残高	—	—
当中間期変動額		
自己株式の処分	5	—
当中間期変動額合計	5	—
当中間期末残高	5	—
資本剰余金合計		
前期末残高	54,884	54,884
当中間期変動額		
自己株式の処分	5	—
当中間期変動額合計	5	—
当中間期末残高	54,889	54,884
利益剰余金		
利益準備金		
前期末残高	90,845	90,845
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	90,845	90,845
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金		
前期末残高	2,309	2,241
当中間期変動額		
固定資産圧縮積立金の取崩	△31	△30
当中間期変動額合計	△31	△30
当中間期末残高	2,277	2,210
固定資産圧縮特別勘定積立金		
前期末残高	—	341
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	—	—
当中間期末残高	—	341

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
特別償却準備金		
前期末残高	1	0
当中間期変動額		
特別償却準備金の取崩	△0	△0
当中間期変動額合計	△0	△0
当中間期末残高	0	0
特別積立金		
前期末残高	333,700	348,700
当中間期変動額		
特別積立金の積立	15,000	—
当中間期変動額合計	15,000	—
当中間期末残高	348,700	348,700
繰越利益剰余金		
前期末残高	26,514	14,603
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,537	△4,187
固定資産圧縮積立金の取崩	31	30
特別償却準備金の取崩	0	0
特別積立金の積立	△15,000	—
中間純利益	11,607	17,348
自己株式の処分	—	△3
当中間期変動額合計	△7,898	13,187
当中間期末残高	18,615	27,791
利益剰余金合計		
前期末残高	453,369	456,732
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,537	△4,187
中間純利益	11,607	17,348
自己株式の処分	—	△3
当中間期変動額合計	7,069	13,156
当中間期末残高	460,439	469,889
自己株式		
前期末残高	△12,163	△12,349
当中間期変動額		
自己株式の取得	△287	△160
自己株式の処分	71	81
当中間期変動額合計	△215	△79
当中間期末残高	△12,378	△12,428
株主資本合計		
前期末残高	586,936	590,113
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,537	△4,187
中間純利益	11,607	17,348
自己株式の取得	△287	△160
自己株式の処分	77	77
当中間期変動額合計	6,860	13,077
当中間期末残高	593,796	603,190

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	109,470	40,690
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△25,503	34,556
当中間期変動額合計	△25,503	34,556
当中間期末残高	83,967	75,246
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△218	△312
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	227	△43
当中間期変動額合計	227	△43
当中間期末残高	9	△355
評価・換算差額等合計		
前期末残高	109,252	40,378
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△25,275	34,512
当中間期変動額合計	△25,275	34,512
当中間期末残高	83,977	74,890
新株予約権		
前期末残高	57	129
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	36	12
当中間期変動額合計	36	12
当中間期末残高	94	142
純資産合計		
前期末残高	696,247	630,621
当中間期変動額		
剰余金の配当	△4,537	△4,187
中間純利益	11,607	17,348
自己株式の取得	△287	△160
自己株式の処分	77	77
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△25,238	34,525
当中間期変動額合計	△18,378	47,602
当中間期末残高	677,868	678,223

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。